

諏訪湖クラブニュース NO. 5

平成 21 年 新年度に向けて

会長 沖野外輝夫



2月14日に行われた一周年記念大会は午前、午後と続く長丁場ではありましたが、旧くて新しい諏訪湖の問題と新たな課題「諏訪地域のエネルギーの地産地消」を考える良い機会となったと思います。二つの問題共に新年度に引き継がれる取り組みですが、多くの会員が討論に係わることのできるような工夫が必要と考えています。その他にも「地域のまちづくり」、「農水産物の地産地消」などなど、会員が積極的に取り組んでこられた課題も多くあります。これからも会員相互に理解し合い、会員全体の課題として発展させる機会を多くすることも新年度の課題と考えています。

諏訪地域エネルギー自給計画調査は平成 20 年度の環境省助成金により、エネルギー政策科学研究所と飯田市の「おひさまエネルギー株式会社」の応援を得てこの 3 月に報告書を完成させることができました。その内容については一周年記念大会でご報告しましたが、大会に出席されなかった会員の方々には近いうちに概要をお伝えし、新年度への取り組みにご協力をお願いする予定です。今後の取り組みに当たっての主な課題は二つあります。一つは具体的に諏訪地域で地産エネルギーを取り扱う「事業体」の立ち上げです。もう一つは事業体を維持、展開するための財政的基盤となる「市民ファンド」の設立です。両者共に実社会での具体的な取り組みになりますから、慎重な討議と大胆で新鮮な計画が必要になります。幸いにして隣接する地域の南信州おひさまエネルギー協議会での実践的な取り組みが進行していますので、その経験を参考にさせていただくことができるのが有利な点です。

3月28日に「コミュニティ・ファンド等を活用した環境保全活動推進事業」シンポジウムが東京国際フォーラム・ホールで開かれました。今回の環境省からの助成金はこの事業の一環として行われたものです。助成先団体の活動報告もこのシンポジウムで行われました。今回のシンポジウムの主題は「エコを支える新たなお金」、副題は「市民出資・市民金融が拓く持続可能な社会」というものでした。これからの地域計画は民間主導であり、金銭面での自立も必要との見通しで、これまでの国からの金銭的助成を脱却し、名実共に地域の自立を図る、それも民間の自主的な活動が期待されています。すでにその方向で各地にいろいろな動きがあることが実感されたシンポジウムでした。そのためには地元の金融機関を含めた企業の積極的な参加により、民間の全く新しい地域作りの発想が必要となります。席上、東京の西部信用組合の取り組みが報告され、地方の金融機関との連携にも興味を惹かれました。

これまでの日本の社会形態は上意下達型で推移してきましたが、ようやくボトム・アップを主軸とする正常な民主的社会へと脱皮する方向性が出てきたことは嬉しいことと感じたのがシンポジウムに出席しての感想でした。ただし、まだまだ油断は禁物です。地域の自立の言葉の陰に国の底意がちらついて見えますが、とりあえずは単純に喜んで受け入れてみてもよいのではないのでしょうか。

Information

平成 21 年度 総会の予定が決まりました。多くの会員の皆様のご参加をお待ち申し上げております。同封の返信用ハガキに必要事項をご記入の上、4 月 22 日頃（水）までにご投函いただければ幸いです。どうかよろしく願いいたします。

平成 21 年度 諏訪湖クラブ 定期総会を開催します

- 日 時 4 月 25 日（土）13:30～16:30
- 会 場 下諏訪総合文化センター 集会室 ※駐車場あり
- 内 容

平成 21 年総会次第 (13:30～14:30)

【報告事項】

- (1) 報告第 1 号 平成 20 年度 事業報告（案）
- (2) 報告第 2 号 平成 20 年度 会計報告（案）

【審議事項】

- (3) 議案第 1 号 平成 21 年度 事業計画（案）
- (4) 議案第 2 号 平成 21 年度 予算（案）

【その他】

講演：演題「エコ・ツーリズムについて」（14:30～15:30）

講演講師 比田井 和子 氏（株）未来政策研究所 主任研究員）

講演後 分科会形式フリートーキング（15:30～16:30）

懇親会（17:30 頃～）

会場下諏訪会場近く「つくし」・ 会費 3000 円程度（飲み物代別）

- 総会にご欠席の場合は委任状の提出をお願いします。
総会にご欠席の会員の方は、同封のハガキにて委任状の提出をお願いいたします。総会、懇親会ともに出欠をお知らせいただければ幸いです。急なご出席も大歓迎ですので、予定が明確でない方は、必ずしもお返事をいただかなくとも、当日ご都合がつかましたらご出席下さいませ。
- 当日、平成 21 年度年会費（大人 3,000 円・大学生 500 円・小中高生 100 円）をお持ちくださいますよう、どうかよろしく願いいたします。

最近よく耳にするけど「エコツーリズム」ってなに？
 にお答えします！
 講演講師の 比田井和子様よりご寄稿 をいただきました。

諏訪湖の環境保全にエコツーリズムは何ができるか？

—エコツーリズムの意義と役割—

「エコツーリズム」は、地域の自然、文化、歴史の遺産を守りつつ、それらとのふれあいをガイドの説明を受けながら楽しみ、地域活性化に結びつけようという新しい旅の理念である。

「エコツーリズム」という概念は 1980 年の早い時期に成立されたとされるが、いつ、誰が提唱したのかという命名者や日付を示すことはできない。

エコツーリズムの概念形成のルーツは次の 2 つであるとされている。一つは環境保全の世界的な思潮である。深刻化する環境問題への危機意識から 1970 年代に世界的な運動として始まり、1980 年代に「持続可能性 sustainability」という概念に結実する世界的な環境保全の思潮と行動である。もう一つは実践面でのルーツである。ガラパゴス諸島では、1960 年代の後半から自然資源の保全と管理の両立を図り、それによって保護の資金も獲得するという保全・活用・経済が三位一体化した「管理型観光」と呼ばれる手法の開発に取り組んでいた。

さらに観光が途上国の開発政策として注目されるにしたがい、自然保護と開発の相克は厳しさをまし、観光面からも資源の保全と適正な活用が世界的な課題となってきた。このようにエコツーリズムは、世界的な環境保全の思潮を背景に、ガラパゴス諸島の実践を範として、資源の保全・活用及び経済効果の三位一体的な達成を求める時代の要請によって誕生した理念である。

日本でのエコツーリズムの導入の嚆矢は、1988 年の小笠原諸島のホエールウォッチング・ツアーだとされる。1992 年の西表島のエコツーリズム協会結成先駆的事例として、1990 年代に普及しはじめた。日本におけるエコツーリズムの特徴は、日本型エコツーリズムといわれるように、原

生的自然よりも里地・里山・里海などに代表される人間活動との相互作用のなかでつくられてきた自然の特性に即し、地域の生活文化と一体化した資源の存在様態がみられることである。したがって資源の保全と活用はすぐれて自然も含む地域の文化・歴史遺産総体の保全と重なり、そこに地域の活性化とエコツーリズムが結びつく必然性が生まれてくる。



ご報告します

2月14日 諏訪湖クラブ一周年記念大会が行われました

日 時 : 平成 21 年 2 月 14 日 (土) 午前 10 時～16 時
場 所 : 諏訪市文化センター・第二集会室
内 容 :

[午前の部] (10:00～12:00) 諏訪湖の保全を考える

1. 『科学的データで見る 過去百年の諏訪湖の変遷』 諏訪湖クラブ会長 沖野 外輝夫
2. 皆で話そう諏訪湖の今と将来
～ 参加者全員でのグループフリーディスカッション ～
司会 諏訪湖クラブ理事 高木 保夫

[午後の部] (13:00～16:00) エネルギーの地産・地消を考える

1. 趣旨説明 諏訪湖クラブ会長 沖野 外輝夫
2. 諏訪地域エネルギー事業計画 (環境省交付金事業)
「コミュニティ・ファンドを活用した環境保全活動促進事業」の成果報告
諏訪湖クラブ理事 谷 辰夫
3. 太陽光・マイクロ水力発電複合システムの経済性について
宮下真吾 山崎重人 鮎澤優輔 谷 辰夫
4. 【基調講演】
「世界と日本の自然エネルギー事業推進の現状とコミュニティ・ファンド」
NPO 法人環境エネルギー政策研究所 (ISEP) 所長 飯田 哲也氏
5. フリーディスカッション 司会 沖野 外輝夫

ご参加お待ちしております！

第 20 回諏訪湖チャリティ・ウォーク & 20 周年記念植樹

- 1 期 日 : 5 月 3 日 (日) 憲法記念日 雨天決行
- 2 集合場所 : 諏訪市片倉ふれあいなぎさ、野外音楽堂
- 3 受付時間 : 8:00～15:00 頃まで (予約はいりません。直接会場にご集合ください。)
- 4 参加料 : 無料
- 5 持ち物 : 昼食、筆記用具
- 6 その他 : フォーラム時に寄付を募ります。(乗船代等諏訪湖保全の活動資金)

【連絡先】 金子 田美 392-0131 諏訪市湖南 6094 Tel:0266-53-7707

※チャリティ・ウォークの趣意書およびタイムスケジュールを同封しました。
あわせてご覧ください！

理事紹介

宮坂 平馬 様

諏訪へ戻って、10年少々経ちました。高島城の近くにある「みその丸高蔵」で働いており、「ほっとするものやこと」をテーマにしています。

戻ってから改めて、暮らすなら東京より諏訪だと感じました。地元には、諏訪の魅力を知っている方が大勢います。その縁で諏訪湖クラブに入会しました。諏訪の良さを再発見しながら、新しい諏訪の創造にも参加したいと思っています。ついながら、最初に出会った時の感動以来、mac（食べられない方）のファンです。そんな感動を与えるほどの物や事も創れたらと思っています。



小口 武男 様

高島産業株式会社社長、長野県環境保全協会理事などしております。

諏訪青年会議所時代に諏訪湖早朝掃除を始め、環境に興味をもつようになりました。その後、企業の五十周年にあわせ、高島環境ボランティア基金をつくりました。この基金により、諏訪地域の自然環境保全にかかわる団体がこれまで20団体以上表彰されております。

出張などが多く、なかなか会への積極的参加とはいきませんが、会社関係とNPOの接着剤の役割ができればと思っています。



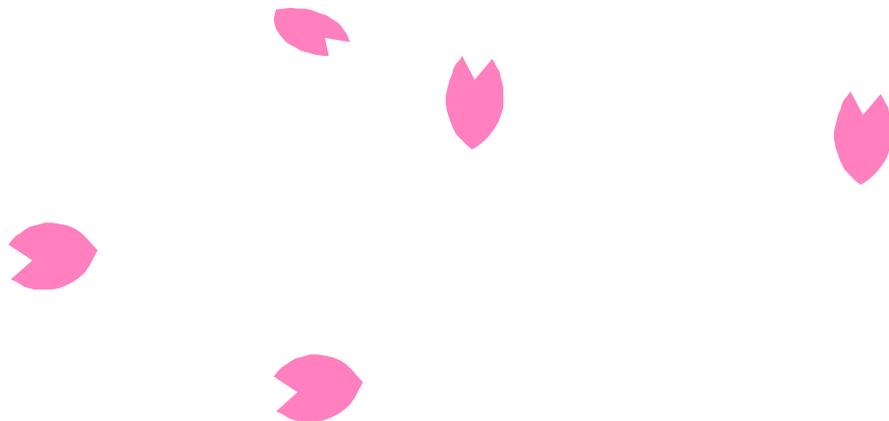
理事会報告

- 第15回
- 日時 : 平成20年3月15日(日) 午前10時~12時
- 出席者 : 沖野・久住・金子・長崎・宮坂・鴨志田 <順不動・敬称略>
- 内容 :
1. 総会(日時、場所、内容)について
 2. チャリティ・ウォークの開催について
 3. 理事、副会長の補充について
 4. その他

春がやってきたばかりの諏訪湖です！



(諏訪市 YH さん 平成 20 年 4 月 撮影)



企画・編集・発行

諏訪湖クラブ事務局

〒392-0017 諏訪市城南二丁目 2362

TEL/FAX 0266-58-0490

E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

諏訪湖クラブニュース No. 5

平成 21 年 3 月 30 日発行